



#Trashless

GREENPEACE

PLASTIC

FREE

GUIDE

プラスチックフリーガイド

Action
#5

あなたの街をプラスチックフリーにするためにロビー活動

**プラスチックフリーガイドをダウンロードしていただき
ありがとうございます。**

**これは、プラスチック汚染のない世界をつくるために、
アクションを起こすためのガイドです。**

**地球上のいたるところに広がるプラスチック汚染を止めるために、
いま、私たち自身が動き始めましょう！**

私たちはみんな、プラスチックゴミで覆われたビーチや、プラスチックを食べてしまった動物たちの悲惨な状況を目にして、心を痛めてきました。日常生活にあふれる使い捨てプラスチック製品に囲まれていると、イライラがたまったり、使い捨て文化をやめられるのかと無力感を感じてしまうこともあります。

個人がプラスチックストローやレジ袋、ボトル、パッケージなどの使い捨てプラスチックを使う量を減らしたり、リサイクルを促進することもとても重要ですが、断るチャンスもないまま使い捨てプラスチックが私たちの手元にやってくる場合もあります。買いたいものがあっても、プラスチックでパッケージされたものしか手に入らないこともあります。

プラスチックでいっぱいになった海を見ればわかるように、使い捨て社会はもう限界にきていると考えた方が良さそうです。暴走する使い捨て文化を規制しようという政府の動きもまだありません。でも、私たちが力を合わせれば、プラスチック汚染を解決することは不可能ではありません。解決に導く方法をこのガイドでご紹介します。

日本でも、使い捨てプラスチックは必要だという一昔前の考え方に疑問を抱く人が増えています。プラスチック汚染の拡散を解決するために、毎日の暮らしを変えなければならないというムーブメントも、ますます広がっています。

地球のために、私たち自身や、地球で生きるすべての命のために、私たちはプラスチック汚染のない未来をめざして、変化の潮流を作り出そうとしています。プラスチック汚染は、私たち個人の力だけでは解決できません。プラスチックを大量に生産・使用する企業の責任も問い、政府に実効性のある行動を促し、お互いに連携しながら、循環型社会の実現に挑戦しましょう！



あなたの街をプラスチックフリーにするためのロビー活動

アクション#5： あなたの街を使い捨てプラスチックフリーにするための ロビー活動

ロビー活動とは、議員に問題を説明し、理解を得て、新しい制度や規制を作ることに協力を得ることです。

「ロビー活動」というとき、産業界のために政治家に対して交渉するロビイストのことを想像する人も多いかもしれませんが、実際には、すべての有権者に、政治家に意見を伝える権利があります。

ロビー活動を効果的なものにするには、時間をかけて議員にはたらきかけて、問題について共通の認識を持ち、新しい制度や規制を導入する支援を得ることが必要です。プラスチック汚染についての勉強会に政治家を招くなど、ロビー活動以外の活動をロビー活動と組み合わせることもできます。また、ロビー活動の前にメディアで問題が取り上げられていれば、市民の間で関心の高い問題であることを示せるので効果が高まります。



ロビー活動の際に覚えておくべき重要なこと

- 要求を明確にして、簡潔で一貫性のある主張を行いましょう。プラスチック汚染に関する重要なメッセージは[こちらのドキュメントでご紹介しています。](#)(※1) 要点に触れないで遠回しに言うことは避けてください。ロビー活動では、単刀直入に要求し、要求事項を明確に表現してください。政治家でも、市民による意識啓発キャンペーンや社会的なムーブメントへのサポートに、どう対応したらいいか全員がわかっているわけではありません。どんな支援をしてほしいのか、どうしてそうしてほしいのかを伝えましょう。
- 「メディアの発信力」を活用しましょう。プラスチック汚染のようにみんなに影響のある問題には、メディアが関心を持ちます。メディアは、議員を説得するための力を提供してくれます。メディアがプラスチック汚染についての記事を頻繁に書いている今は、議員にロビーし、プラスチック汚染への問題意識が高まっていること伝えて、市民からプラスチック規制を求める声が高まっていることを強調するいいチャンスです。
- 議員や政党の功績を認めることは大切です。プラスチック規制の法案に支持を表明したり、あなたの要求を支援してくれたりした場合には、お礼を伝えましょう。
- 市町村や都道府県の議員にロビー活動をするときは、長期的な国レベルの目標を念頭に置きながら、地域に根付いた、その地域内でできることを求めましょう。長期的な視点で、国全体、または国際的な目標を見失わないことも重要ですが、地域に特化してロビー活動することは、地域の代表者がより広い範囲でも変化を起こしていくために重要なことです。
- 人々の関心が薄れたときでも、辛抱強さが大切です。規制の導入は長引くことがあります。人々が問題に対し関心を失ったときにもロビー活動をあきらめないでください。



効果的なロビー活動のための関係構築

あなたがロビー活動しようとしている政治家はどんな人ですか？ どんな社会を目指していますか？ その人が所属する政党はどんな政策を掲げていますか？

ロビー活動をしようとしている議員の人物像について調べておくと、より効果的なロビー活動をすることができます。働きかけようとしている議員の所属政党がプラスチック規制を推進していなくても、過去に環境問題に取り組んだ経歴を持っているなら、他の議員よりも環境問題に関心を持っているかもしれません。議員について知っておくことで、工夫してより受け入れやすい方法で要求を訴えることができます。

- 公式ページを見てみましょう。最近の議員はほとんど公式ウェブサイトを持っています。Google検索するだけで、多くの情報が得られるはずです。
- ニュースをチェックしましょう。プラスチック汚染に関連するあらゆるニュースや記事に、議員の名前が出ていませんか？全国メディアと地元メディアの両方を確認してみましょう。
- SNSで議員を見つける。TwitterやFacebookで議員を検索して「フォロー」し、どのような問題にどのように取り組んでいるかを確認します。

調査が完了しましたか？ では、ロビー活動を開始しましょう！

手紙やEメールを送る

議員個人に宛てて手紙を送ると、Eメールやフォームから投稿されたメッセージよりも、返信を受け取る可能性が高くなります。あなたの懸念を伝え、議員に行動を求める手紙を書いてください。**批判するよりも、支持や感謝を表明する方が効果があります。**地元議員があなたの要求に応じてなんらかの行動を起こしてくれる場合は、感謝を伝える手紙を送りましょう。議員がより継続的に、協力してくれることにつながります。手紙を書くときの注意点をお伝えします。

- 手紙を送るときは、地域の問題についてならあなたの選挙区の議員の住所に、全国的な問題についてなら議員会館の住所を使用してください。
- 手紙には、あなたの住所と連絡先の詳細を記入しましょう。
- 必ずあなたが有権者であることを述べ、あなたの名前と住所を記入してください。
- Eメールは、より市民の声に応じて行動を起こしてくれそうな政治家に書いてください。誰もが市民の声に耳を傾けてくれるわけではありません。
- Eメールは、Eメールの略式ではなく、手紙のフォーマルな書式で書きましょう。
- Eメールの件名にトピックを記述しましょう。
- Eメールを送っている目的と要求を明確にして、手紙に返事を書くか、対面でミーティングしたり、電話してもらうことで返事をくれるようお願いしましょう。
- 要求例は[こちらで紹介しています。](#)(※2)
- 感謝を伝えることは、批判と同じくらい重要です。
- 礼儀正しくすることで、さらにロビー活動がうまく行きます！ 礼儀を忘れないながらも、自分の意見ははっきりと主張しましょう。
- 手紙には個人名で署名しましょう。
- すべてのやりとりの記録を、日付を入れてPDFや印刷された状態で残しておきましょう。日付入りコピーを保管するようにしましょう。

- 友人や仲間にも、同じようにメッセージを書いてもらいましょう。たくさんの方が書けば書くほど、議員が耳を傾けてくれる可能性が高くなります。あなたの手紙やEメールを共有して、友人や仲間に個人個人の思いや考えを入れて自分の名前を入れて送るようお願いしましょう。プラスチックフリーの活動に関心のありそうなグループにも、あなたの手紙をシェアしましょう。
- イベントを開催して、一緒に手紙を書きましょう。スナックを食べながら、手書きの手紙やEメールと一緒に書くワークショップなどを開催しましょう。
- フォローアップを忘れずに。返事をしてくれた議員にお礼状を書いて送りましょう。その手紙の中で、次はどうしてほしいのか、次のステップをクリアにしましょう。

電話をかける／電話キャンペーンを開始する

電話は、議員に意見を聞いてもらうための、すばやくて手軽な方法です。たくさんの方が同じトピックについて電話すればするほど、さらに大きな影響を与えます。友人や家族、地域の人々に、議員に電話してプラスチック汚染についての行動を促すような電話キャンペーンを始めてみましょう。FacebookなどのSNSでも、あなたの友達に電話をするように呼びかければ、キャンペーンを広げることにつながります。友人に電話をしてもらうように頼むときは、プラスチック汚染についての背景情報（話のポイントやデータは[ここ](#)（※1,3）にあります）や議員の連絡先、そして他の議員を探すための方法を教えてあげるといいでしょう。

- 法案、政策、または禁止令について電話する場合は、法案、政策、禁止令の正式名称を確認しておきましょう。
- まず最初に、簡潔に要求を伝えましょう。話の内容の要点を書いて手元に置いておくと安心です。[要求の例をこちらでご紹介しています。](#)（※2）
- あなたの名前を伝え、有権者であることを伝えましょう。
- 要件を簡潔に話し、相談したい旨を伝えましょう。議員に、明確な行動を起こしてもらうように要求しましょう。法案を支持すること/反対することなど。

- 省庁のオフィスに転送された場合は、プラスチック汚染の問題について、議員に知ってほしいと思っていること、そして議員に、省庁や政府内でその問題について話し合ってもらいたいと思っていることを伝えましょう。
- 礼儀正しく、忍耐強く。そうすればよりロビー活動が進展するでしょう。
- 手紙やEメールでフォローアップしましょう。



公の場で質問してみる

会議や討論会、議会は、プラスチック汚染の問題にスポットライトを当て、使い捨てプラスチックの生産と消費に、政府が規制介入する必要性を訴える非常に重要な機会です。また、議員が参加する行事に出席してその場で質問をすることは、議員の見解を確認する有効な方法の1つです。協力的な回答を得たら、カメラで撮影してSNSで拡散して、多くの人に知らせましょう。その議員への期待が高まることでもっと取り組んでくれるかもしれません。あなたの懸念に対して耳を傾けてもらうための強力な方法であり、プラスチック汚染と使い捨てプラスチック削減について、議員の立場を明確にさせることができます。これらのイベントに関する情報は、自治体の議会や議員の公式のウェブサイト、SNS、または議員の事務所にコンタクトすることで見つけることができます。

オフィスに電話したり、党の会報やメールマガジンなどを受け取ったり、SNSをフォローしたりすることで、議員の活動スケジュールをチェックしましょう。政治的なイベントや会議の予定が明らかになるのは、1日~2日前のときもあるので、いつでも対応できるように準備しておきましょう。あなたの要求を簡潔に伝えて、相手の立場を明確にする質問をふだんから用意しておきましょう。

友人や家族を連れて参加すれば、現場で受ける緊張を軽減することができるでしょう。たくさんの人の前でマイクを持つことは緊張するかもしれませんが、いくつか準備のためのアドバイスをお伝えします。

- **事前に質問を準備しましょう。** あなたはおそらく発言の機会を一度しか与えられないので、質問は1つだけになるはずです。
- **心配しないでください。** 議員は、有権者であるあなたの声を聞きたいと思っているはずです。
- **発言は明確で要点を得たものになるように注意しましょう。** なぜあなたが質問をしているのか事情を説明したい場合でも、参加者が関心を失わないように簡潔に。例えばこのように質問をしてみてください。「私の名前はXXです。XX市に住んでいます。毎分、トラック一杯分のプラスチックゴミが海に流れ出していると言われています。プラスチック汚染が心配です。XXさんの意見を伺えますでしょうか？」
- **質問に対して回答を得るまで、マイクを持ったままにしておきましょう。**
- **プラカードなどの小道具は？** リーフレットやプラカードなどを持つことで、会議でプラスチック汚染の問題意識を高めることもできますが、質問が終わった後、もし議員がプラスチック汚染の問題についてあまり乗り気ではない場合に使った方が、より効果的です。

署名活動を開始する

Change.orgなど、署名キャンペーンを開始するためのさまざまなツールがあります。キャンペーンを成功させるためのヒントも提供しています。あなたの署名キャンペーンで、誰を対象とするかを決めたら、手紙やEメールを書く時と同じように、明確な要求を決めましょう。[要求の例はこちらでご紹介しています。\(※2\)](#)

署名キャンペーンが立ち上がったら、SNSで



シェアしてあなたの友達にもシェアしてもらってください。署名の数が集まってきたら、署名をどのように提出するかを検討してください。メールで送るか、署名を印刷して手渡しするか、郵送するかなど、いくつか方法があります。手渡しで提出する場合は、仲間を何人か集めて、メディアにも声をかけてもいいでしょう。

署名を集めるためのツールは、以下からご覧ください。

<https://www.change.org/>

ミーティングを設定する

議員と面会し、定期的に連絡を取ることで、ロビー活動を成功させるために必要な信頼関係を築くことができます。関係を構築するためには、十分な情報を準備してから面談しましょう。**いい関係を築けば、対決姿勢で話すよりも大きな成果を期待できるでしょう。**あなたの面談の成果を最大限にする方法をご紹介します。

事前に準備しておくもの

- **問題点について説明する1ページの資料を作成します。**資料を手渡すことで、ミーティングの後に議員が検討するための情報を残していくことができます。[1ページの資料の例はこちらです。](#)(※4) 最近のニュース記事や、研究結果など、あなたの主張を裏付ける資料があれば、それを印刷して持っていくのもいいでしょう。

議員とミーティングのアポを取る

- **ミーティングのアポを取りましょう。**議員はいつ都合が良いかを聞いて、ミーティングのアポを取りましょう。国会議員の場合は、自分の選挙区の議員だとミーティングしてもらえる可能性が高いです。根気強くミーティングを依頼し続けることが重要です。あきらめないでください。

ミーティングでの注意点

- **簡潔にメッセージを伝え、明確な要求をしましょう。**参考までに、ロビー活動で要求する事柄の例を[こちらにまとめました。\(※2\)](#) 議員は、実際に規制を導入する力を持つ人なので、プラスチック汚染について啓発するだけではなく、それを解決するために行動を起こしてもらうことを目的にメッセージを伝えましょう。
- **親密な信頼関係を築くつもりで行きましょう。**良い印象を残して、ロジカルで情熱のある人だと思ってもらえれば、議員はあなたの要求について検討する可能性がより高くなるでしょう。お互いに合意できる共通認識を見つけて、たとえ賛成できなくても心を開いて彼らの意見を聞きましょう。
- **本来の解決にならない代替案を避けましょう。**要求に一貫性を持たせることが重要なので、例えば生分解性プラスチックのような、使い捨て文化の解決策にならないアイデアを提案することは避けましょう。[ここで事例をご紹介します。\(※3\)](#) 質問にすぐ回答できなくても、その場で答えようとせずに、後ほど情報を共有します、と伝えましょう。
- **質問の時間を取りましょう。**ロビー活動は、演説ではなく対話です。質問をしてもらうことで、お互いが何かを学ぶこともあります。質問してもらうことで、議員がどのように問題にアプローチしているかをわかることが多いからです。
- **相手の考えを引き出す質問をしましょう。**相手が話せば話すほど、相手の考えを理解することができます。
- **明確な約束を得ましょう。**あいまいな約束で納得してはいけません。議員がなんらかの行動に出る準備ができていない場合でも、少なくとも次のステップを明確にしてください。約束を取り付けるには時間がかかりますが、コミュニケーションが続く状態にしておくことが必要です。
- **話を聞いてくれた相手に感謝しましょう！** 手紙やEメールを送り、感謝の意を伝えましょう。そして面談内容を要約して、次のステップを確実にしておきましょう。

グループでミーティングに行く場合は？

- グループのメンバー全員が、問題をよく理解しているか事前に確認しましょう
- 議論したいトピックごとに発表する人を決めましょう
- 会議中にメモを取る担当者を決めておきましょう

議員が使い捨てプラスチックの禁止を支持し始めましたか？ 進捗を教えてください。

- **グリーンピースにも進捗を教えてください。**このメールアドレスに、あなたのロビー活動の進捗を教えてください。supporter.jp@greenpeace.org
- **SNSで広めましょう。**FacebookやTwitter、Instagramで、議員とのミーティングの結果や、議員が起こしてくれた行動について、ハッシュタグ#プラスチックフリーと#Trashlessをつけてシェアしてください。
- **他のガイドを試してみませんか？** もっと何かしたい場合は、ガイドの他のセクションをダウンロードしてください。ほかのアクティビティでも、グリーンピースがみなさんの活動をサポートします！

※1 重要な
メッセージ



※2 企業や政府
にお願い
できること



※3 重要なデータ
と情報



※4 説明資料
の見本



制作・発行：国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

発行：2018 年 8月

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-13-11 NFビル 2F

Tel 03-5338-9800 Fax 03-5338-9817

www.greenpeace.org/japan

グリーンピースは環境保護と平和を願う市民の立場で活動する国際環境 NGO です。問題意識を共有し、社会を共に変えるため、政府や企業から資金援助を受けずに 独立したキャンペーン活動をしています

Photo credits: © Natalia Cartney, Argelia Zacatzi, Bente Stachowske, Chong Kok Yew, Filip Brala, Greenpeace

GREENPEACE